

復活!!

駅伝
いい
いたて

2年ぶり
村の部優勝



総合順位は8位

区間賞は総合1人、 村の部4人



▲森永監督を胸上げし、勝利を喜ぶ選手たち



▲優勝旗を受けとる選手代表

特集 承くしま駅伝

第15回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会、
通称ふくしま駅伝。

11月16日、県内83市町村が参加して行われた
この大会、ゴールとなった県庁前広場で飯館チー
ムのアンカー、佐藤和也選手が、見事村の部トッ
プでテープを切りました。

「駅伝いいたて」復活の瞬間。

勝利の胸上げが、自身も走り終えた後、各区
間を回って選手たちの応援をしていた、森永伸
一監督の県庁到着を待って行われ、選手たちの
手で監督が3回、宙に舞いました。

通算タイム5時間18分22秒。

昨年の大会終了から1年間、選手たちの努力
は、2年ぶりの村の部優勝、総合8位という結
果となって実を結びました。

「信頼」つないだ16区間

ダイジェスト
ふくしま駅伝

11月19日に行われた「第13回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（通称ふくしま駅伝）」で、飯館村チームが5時間18分22秒のタイムで完走し、総合8位に入賞、2年ぶりに村の部で優勝しました。



▲スタート！ ふくしま駅伝

白河市から福島市までを1本のたすきでつなぐこの大会。曇り空ながらも比較的穏やかで暖かい日となった11月19日午前8時、号砲と同時に白河総合運動公園に設置されたアーチから選手たちが一斉に飛び出し、16区間、距離にして95・3キロに及ぶ長いたすきがスタートしました。



▲1区をトップでタスキリレー（左が高橋選手、右が選手巻野選手）

特集 ふくしま 駅伝



▲3区菅野選手

キャプテンの佐藤選手▶



いきなりの先頭。^{トップ}好成績に期待大

飯館チーム華の第1区は高橋ゆかり選手。「練習不足で不安」と話していた高橋選手でしたが、いきなりの好走を見せ、トップで第一中継所サンフレッシュ白河へ。2区の巻野修一選手にたすき



▲6区加藤選手

飯館チームはその後巻野選手が総合2位、続く3区、中学生ランナーの菅野将希選手が総合5位、4区、監督の森永伸一選手が一つ順位を上げて総合4位、そして5区、キャプテン佐藤優也選手、6区、加藤輝彦選手が総合8位の成績と、上位を維持したままたすきをつなぎ、沿道で声援を送る観客に「駅伝いいたて」の存在を強力にアピールしていました。



▲8区佐藤浩太選手（右手前）



▲坂をかけ上がる12区渡部選手



▲県庁前ゴールを目指すアンカー佐藤選手（右）

今年アンカーを努めたのは佐藤和也選手。「自分の長距離の原点は飯館チーム」と話す同選手は、中学生の頃から過去5回、この大会に出場している期待のランナー。

佐藤選手は途中数人を抜き去るなど、チームメイトの頑張りに応える力走を続け、午後1時過ぎ、県庁前広場を包む歓声の中、両手を広げゴールテープを切り、フィニッシュしました。

中学生の頑張り とベテランの経験 光った中盤

中盤7区、一斉スタートとなった8区郡山総合体育館前、ここから9区までは中学生が頑張りを見せました。まず7区を走ったのは藤井慶介選手（中3）。藤井選手は総合で区間2位の素晴らしい走りを見せ、後輩の8区佐藤浩太選手（中2）を援護、また大会初出場の9区武田美由紀選手（中1）も初出場のプレッシャー



▲必死の走り、10区佐藤選手

をはねのけ、しっかりと走り続けました。

中学生たちの頑張りで勢いをつけた飯館チーム。中盤後半は、10区佐藤彰洋選手、11区武田千恵美選手、12区渡部誉典選手、13区菅野茂則選手と、い

ずれもふくしま駅伝経験者が揃いました。

各選手とも経験を生かした堅実な走りで確実にたすきをつなぎ、レースは終盤へ突入しました。

頑張り報われた
完走、総合8位、
そして村の部優勝

特集 ふくしま 駅伝



▲15区大内選手

終盤14、15区は大内龍太郎選手と田村紗菜実選手。他のチームが勝負をかけてくる終盤で、両選手とも快走を見せ、田村選手は村の部区間賞の成績で最後のランナーにたすきを渡しました。



▲5区 佐藤 優也キャプテン



▲6区 加藤輝彦選手



▲7区 藤井慶介選手



▲11区 武田千恵美選手



▲12区 渡部誉典選手



▲13区 菅野茂則選手



▲控え 佐々木遥香選手



▲控え 渡部加奈絵選手



▲控え 横山亜耶選手



▲控え 佐藤 亮選手



▲控え 多田仁彦選手

13区

菅野 茂則 相馬広域消防飯館分署 沿道からのみなさん

12区

渡部 誉典 役場 自分なりに精一杯走ることができた。満足いく結果が出せたと思う。いいいてチームは即席の寄せ集めではなく、みんなで作上げたチームだと思う。だから総合優勝も夢ではないと思う。

11区

武田千恵美 原町高3年 高校駅伝の疲れがあったが、一生懸命頑張った。沿道の応援がとても心強かった。

10区

佐藤 彰洋 東洋大1年 足を故障中で思い通りには走れなかったが、3年ぶりで楽しく走れた。でも、今回の結果に満足していないので、今後で借りを返したい。大学駅伝も頑張る。

9区

武田美由紀 飯館中1年 1日前に走ることを告げられビツクリした。緊張したけど、うれしかった。補助の人の分も頑張りがかった。今後ももっと頑張りたい。

8区

佐藤 浩太 飯館中2年 一生懸命走った。タスキをつなげば後の人が何とかしてくれると信じて走った。

7区

藤井 慶介 飯館中3年 駅伝で楽しいと思った。もっと速くなるよう練習して、高校でがんばりたい。

6区

加藤 輝彦 川俣精機 15回連続出場は私1人になってしまった。練習不足で調子が今ひとつだったので、一時は辞退も考えた。でも、出場してよかった。チームメイト、応援の皆さんに感謝したい。2年後は総合優勝を目指してがんばりたい。

5区

佐藤 優也 相馬農業高校飯館分校1年 キャプテンとして臨んだが責任を果たせなかった。大会では仲間を信頼し頑張った。来年も頑張る。

3区

菅野 将希 飯館中3年 (自分の) 走りについては記憶がない。1区でトップと聞いて頭が真っ白になった。大会を楽しみたいと思ったがそれも記憶にない。とにかく夢中だった。

2区

巻野 修一 仙台育英高2年 2年ぶりにチームのみんなと走れて楽しかった。今大会を次のステップにしたい。

1区

高橋ゆかり 鹿島中教員 練習不足と前回の東日本女子駅伝の疲労で、実はあまり自信がなかった。気が付いたら先頭になっていたという感じ。これも自分を支えてくれた人たちのおかげ、ありがとうございます。

大会を 終えて



▲1区 高橋ゆかり選手



▲2区 巻野修一選手



▲3区 菅野将希選手



▲8区 佐藤浩太選手



▶9区 武田美由紀選手



▶10区 佐藤彰洋選手



▲14区 大内龍太郎選手



▶15区 田村紗菜実選手



▲16区 佐藤和也選手



▲4区 森永 伸一監督

監督

森永 伸一 村教育委員会 駅伝にかける熱い思い、選手たちの感謝の心がこのチームを成長させている。自身は昨年1年間休んでしまい、みなさんに迷惑をかけたと思っている。今回村の部優勝という結果は出せたが、応援・支援いただいた様々な方々に感謝したい。どうか、これからも子どもたちの成長をあたたく見守ってほしい。そして叱咤激励を今後もお願いしたい。

控え

佐藤 亮 今年初めての参加で感じたことは、沿道の声援が心強くありがたかったこと。来年は(選手として)走れるように頑張る。

控え

横山 亜耶 補助には補助の大切な役割がある。選手のためを思ったら頑張った。来年は(選手として)走って飯館村に貢献したい。

控え

佐々木遥香 朝早く起きるのが大変だった。優勝できたのは私の応援のおかげもあったかな？

控え

渡部加奈絵 サポートで参加し、貴重な体験をさせてもらった。走れないのに自分をチームに加えてもらいうれしかった。チームのみんなに感謝したい。来年こそ頑張りたい。

控え

多田 仁彦 今回は控えで違う角度から、駅伝にかかわった。応援の皆さんの支援、ありがとうございました。自分もまた頑張ってみようと思っています。

16区

佐藤 和也 日体大2年 3年ぶりの出場となった。自分の長距離走の原点はいたてチームだ。ふるさとのアンカーは新鮮な気持ちで走れた。大学でも初心を忘れず、箱根(駅伝)を目指したい。次は総合優勝のアンカーを走りたい。

15区

田村紗菜実 飯館中3年 設定タイムには及ばなかったので残念。来年は更に頑張る。

14区

大内龍太郎 相馬農業高校飯館分校1年 みんなが力を合わせれば何でもできる、駅伝は素晴らしいと思った。沿道の声援が心強かった。今後も頑張る。

の声援が、自分の「もうひと頑張り」の力となった。自分は年長者なので、今後どうなるかわからないが、手伝いでもいいからこのチームにかかわって、今度は総合優勝の感動を味わいたい。